

平成29年度第1回長浜市公共施設マネジメント推進委員会 会議要点録

- 1 日 時 平成29年7月4日（火） 10:00～12:15
- 2 場 所 長浜市役所5階 5-B会議室
- 3 出席者 ○委員計14名
石井委員長、中嶋副委員長、浅見委員、有木委員、石田委員、伊吹委員、木全委員、桐山委員、國友委員、田中委員、野田委員、平井委員、松山委員、宮崎委員
○事務局5名
北川総合政策部長
行政経営改革課：西川課長、元村課長代理、福島主査、山崎主査
- 4 傍聴者 1名
- 5 開 会
・ 北川部長からの挨拶
・ 定足数の確認
・ 資料の確認
- 6 公共施設マネジメントの意義と進め方
・ 石井委員長からパワーポイントを用いて講演。

【質疑・意見など】

- ・ 質疑・意見なし

7 議 事

- (1) 長浜市公共施設等総合管理計画の進行管理（平成28年度末）について
・ 資料1、2に基づき、事務局より説明。

【質疑・意見など】

（委員長）

- ・ 本委員会のこれまでの事務と規則の所掌事務について確認。
- ・ 全体のことも、身近な施設のことも良いので意見交換をお願いする。

（委員）

- ・ 人口減少という言葉をよく耳にするが、人口が増える施策は何かあるのか。小谷城SIC周辺整備はあるが、新しく企業や大学を誘致するような話を聞かない。もう少し明るいニュースを交えて施設の統廃合等について話してもらいたい。施設数を減らさずして、人口を増やす施策を考えてほしい。
 - ⇒ 人口減少、財政状況も厳しいなか、市民サービスを維持していくため施設の複合化等を市民の皆さんと一緒に知恵を出し合って考えていかなければならない。
- （委員）
- ・ 旧上草野小学校は利活用されているが、個別施設計画のどこにあがっているのか。七尾小学校は浅井小学校と統廃合して空き家となるが、施設を減らすだけの話ではなく、跡地の利活用についても説明いただきたい。
 - ⇒ 個別施設計画の中には含まれており、旧上草野小学校はスポーツ施設として利活用されている。施設を減らすだけの話ではなく、跡地の利活用についても積極的にPRしていく。

(委員)

- ・ 旧上草野小学校は母校だが、立派に活用されている。校舎はホテルのようで運動場は全面芝生で予約が殺到している状況である。

(委員長)

- ・ 旧上草野小学校の跡地利活用は立派な成功事例である。

(委員)

- ・ 現在、企業誘致が全く途絶えている状況であるが、企業誘致の話が全くないわけではない。進出したい企業の話を知ると、長浜市に進出したいが、住民感情や反対により進出できなくなるということである。例えば、NPO法人と聞くだけで、しょうがい福祉施設が来るのではないかというイメージが地域住民に先走ってしまい、せっかくの遊休施設の利活用ができなくなる。

先日、起業型地域おこし協力隊の選考があり、10名の方が3年間、長浜市に来られる。地域おこし協力隊が起業するときに、市内の遊休施設を有効活用できる受入体制の整備が今後の検討課題である。起業家に対しても遊休施設を活用できる施策を考えていただきたい。ただ単に施設をつぶしてしまうだけでなく、施設を有効活用していくことも検討が必要である。

(委員長)

- ・ 利活用できる施設はいろんな方に有効活用してもらえれば良いと思う。

(委員)

- ・ 資料1に記載のある平成28年度までの実績は結果整理であるか。また、平成29年度の除却施設については、個別施設計画に基づいたものであるか。特に浅井、塩津、永原の診療所については、個別施設計画では平成29年度「検討」となっているが、進捗状況はどうか。

⇒ 平成28年度までは結果整理である。平成29年度の除却施設については、個別施設計画に基づいており、簡易水道については、4月1日から長浜水道企業団へ移管、老朽化が著しい施設については解体、なつめ会館、ふれあい会館は長浜教育集会所への機能集約に伴い解体となっている。診療所については、現在、今後どうしていくか内部で検討協議を進めているところである。

(委員)

- ・ 施設の今後について知っている人は知っているが、地元住民に対して説明があまりない。地元住民に対しての見える化を積極的に行っていただきたい。

⇒ 行政と住民が知恵を出し合って施設の統廃合や複合化を検討推進していく必要がある。そのためにも、施設の現状や課題、今後のあり方について、待ちの姿勢ではなく、積極的に市民と情報共有していくべきと考える。

(委員)

- ・ し尿処理施設について、ある地域で話題になっているが、現在どういう状況か。

⇒ し尿処理施設については、一部事務組合である湖北広域行政事務センターが所管する施設であるため、個別施設計画には含まれていないが、現在、ゴミの最終処分場や火葬場を1か所に集約した施設の建設候補地を湖北広域行政事務センターにて公募され、自治会から提案があったところであり、候補地の決定には至っていない状況である。

診療所についても、事務局も関わりながら進めているところであるが、相手があることであって行政だけで完結する話ではなく、相手先である医療機関と諸条件をつめている状況である。なお、施設を所管する部署が地元の地域づくり協議会等へ出向いて事前説明をしている。早急に情報開示を求められているので、丁寧な対応をすべきと施設を所管する部署に話を通しておく。

(委員)

- ・ 当委員会の委員である以上、総論賛成各論反対ではいけないと考えている。施設が統廃合されることによって、施設がなくなった地域からの交通手段の確保についても合わせて議論いただきたい。

(委員長)

- ・ 本件については、次の議題にも関連することあるので、次の議題の説明をお願いします。

(2) 公共施設マネジメントを推進していくにあたって

- ・ 資料3に基づき、事務局より説明。

【質疑・意見など】

(委員長)

- ・ まずは、事務局説明に対して質問をお願いします。

(委員)

- ・ 委員会規則のなかに、「調査し、及び審議する」とあるが、今までに委員が調査したことがあったのか。
- ⇒ 平成27年度第1回会議において、先進地視察ということで委員の皆さんと一緒に東近江市に行った。こうした先進地視察による調査も実施しつつ、個別具体の詳細な調査については、事務局が担って会議にお示しすることになる。

(委員長)

- ・ たかつき認定こども園等、市内の公共施設も委員の皆さんと一緒に現地視察したことがあった。

(委員)

- ・ 公共施設マネジメントに関する意見の聴取方法について、例えば、連合自治会や地域づくり協議会が受け皿となって行政に意見を伝えるのか、事務局としてこういった仕組みを考えているのか。

(委員長)

- ・ まずは、前回の個別施設計画説明会をどのように開催したのか説明をお願いします。
- ⇒ 今年の1月に本庁と高月支所で、連合自治会長及び地域づくり協議会の役員の皆さんを対象に公共施設マネジメントとは何かと個別施設計画についての説明会を開催した。

(委員)

- ・ 全体の話についてはもちろん分かるが、各地域に出向くと、個々の施設についての議論になると思う。こういったことを踏まえて、意見の発信手法についてこういった仕組みを考えているのか。
- ⇒ 意見の集約方法については、様々な立場からの意見があるので、自治会が受け皿になってとかは想定していない。様々な方から意見聴取を行うことを考えている。

(委員長)

- ・ 資料3の図を整理すると、現行の体制では、行政経営改革課が総合管理計画や個別施設計画の策定を行っており、一元化体制が取れてないわけではないが、施設に関するすべての意見が行政経営改革課に集約できていない。また、公有財産の管理や利活用、処分を考える財産活用室という部署が別にあるため、今後、行政経営改革課の公共施設マネジメント部門と財産活用室が1つの組織になることで、一元的な窓口機能や施設を所管する部署との連携も主体となることができるようになることを示している。次に今後のあり方(案)に示されている体制について意見をお願いします。

(委員)

- ・ 今後のあり方(案)について、まさしく案のような体制ができれば良いと思う。行政は将来像を描くあるいは計画を策定することに長けているが、実施段階まで持つていくためには非常に時間がかかる。公共施設マネジメントを推進していく部署を組織する場合にその組織に権限をしっかりと持たせることが大切である。それぞれの施設の設置条例等が阻害することになり、物事が進まないということがあるのと同様に、公共施設マネジメントを推進していく部署にも権限を持たないと物事が進んでいかない。また、人

材育成が大事である。人によって物事が進まないということではいけない。この2点について、しっかり整理・検証を進めてもらいたい。

(委員長)

- ・ 例えば、複合施設化を考えたときに、1つの部署だけが動いているだけでは物事は進んでいかない。私も公共施設マネジメントを推進していく部署は必要であると考えている。

(委員)

- ・ 施設の統廃合や複合化を考えるときに、必ず交通手段の確保が議論となる。施設を減らしていくことだけでなく、合併して良かったと言われるような施策と施設の跡地活用を考えてもらいたい。公共施設マネジメントを推進する部署がマネージャー的な部門として、関係課に寄せられている情報を吸い上げて、財源確保等何が必要なのかを市民に伝えた上で情報共有を図ってもらいたい。

(委員長)

- ・ 今後のあり方(案)については賛成か。

(委員)

- ・ 公共施設のマネジメント及び方向性をプロデュースしていく部署である行政経営改革課が公共施設マネジメントを推進する部署を必要とするのであれば、ぜひ組織化してほしい。

(委員)

- ・ 私の所属する文化協会や文芸協会は生涯学習の推進に努めているが、関連する市の部署は生涯学習文化課である。一方で我々は、市民活躍課が所管する地域づくり協議会やまちづくりセンターと連携して進める事業も担っており、関連する部署が複数あるため非常にやりにくいと感じている。施設によっては指定管理者が異なるので活動しにくいのが現状で、生涯学習基本方針と実際の行動と大きくかけ離れていると感じるので、地域づくり協議会とまちづくりセンター、文化ホールの3つが一体になった方が我々としては活動しやすいのではないかと考えている。活動する立場になって物事を考えてもらい、関連する部署を1カ所に集約するなど仕組みの検討をお願いしたい。

(委員長)

- ・ 意見として受ける。

(委員)

- ・ 公共施設マネジメントを推進する部署の具体的なプランはあるか。

⇒ 今回お示した案はただき台としての案であり、具体的なプランはない。庁内だけで検討していくのではなく、外部の方からの提案をいただきたいと考えている。

(委員)

- ・ 公共施設マネジメントを推進する部署を考えていくことは良いが、最低5年は同じ職員に担当してもらいたい。事務局としては昨年から引き続き担当されている職員が1名だけである。憎まれ役になるが、ある一定の期間在職してもらい、トップダウンで権限を持って行ってもらいたい。本委員会も市長がトップになるぐらいの委員会に格上げすべきと思う。市民全体の身近な将来のことであり、この委員会でもっと踏み込んだ話をしていきたい。市民一人ひとりが長浜市の将来のことをもっと真剣に考えていかないといけないと考えている。

(副委員長)

- ・ 今後のあり方(案)について、1点目は、市民の意見を集約する矢印になっているが、委員の皆さんの意見を聞いていると、地域に出向いて積極的に情報発信しなければならないので、市民向きへの矢印も必要である。2点目は、公共施設マネジメントを推進する部署にぶら下がっている課がいくつかあるが、本当にこれだけでよいのが疑問である。施設を所管する部署以外にも交通対策や都市計画等を所管している部署とも連携す

るというスキームを描くべきである。３点目は質問になるが、本委員会において、総合管理計画や個別施設計画を策定したところであるが、今後のあり方（案）にある諮問機関としての「公共施設マネジメント推進委員会」はどういった役割を想定しているのか。

⇒ 今後のあり方（案）で示した連携していく部署は一例であり、連携すべき部署は連携していく。公共施設マネジメント推進委員会の役割としては、公共施設の統廃合や複合化等、今後のあり方について答申をお願いしたい。

（委員長）

- ・ 明確な諮問内容はまだないことか。

⇒ はい。

（委員）

- ・ 施設の建設や解体よりも、今の施設をどのように有効活用するかを考えてもらいたい。また、総論的な議題よりも個別具体的な議題を取りあげてもらわないと議論のしようがない。もっと具体的に資料を示してほしい。

（委員）

- ・ 今後のあり方（案）について、例えば、子どもたちの立場からすると、今まで自転車で行けていたグラウンドや体育館、図書館等の身近な施設がなくなると不便になるという意見があった場合、施設を増やすということもあり得るのか。それとも、減らすことを前提に意見集約を行うのか。

⇒ 公共施設というハード面で考えたときには、減らすことが前提になるが、サービスを減らすわけではない。皆さんと一緒に知恵を出し合って政策的な議論をしていくこととなる。あくまでも、公共施設マネジメントを推進する委員会としては、公共施設というハードを削減していくための議論をお願いしたい。

（委員）

- ・ 長浜市も１０年間の総合計画を策定していると思うが、３０年、４０年先を見据えたとき、長浜市が将来のまちづくりをどうしたいのかビジョンが見えてこない。長浜市の将来像を示しつつ、公共施設の方向性を議論すべき。

（委員長）

- ・ 今後のあり方（案）については、総論的には委員の皆さん賛成であると思うが、内容についてはもう少し改善する余地がある。市民に対しての情報発信や情報提供の働きかけ、施設を所管する部署以外の交通対策や都市計画等を所管している部署との連携、公共施設マネジメントを推進する部署に権限を持たすこと、人材育成を含めて前向きに検討いただきたい。公共施設マネジメント推進委員会の役割としては、進行管理が主となっているが、もう少し具体的な議論をしたいという意見もあるので、テーマを絞って委員会の意見を聞くことも必要である。市内に新しく建設される複合施設等の視察があっても良いのではないかなと思う。

８ その他

- ・ 今後の本委員会の体制について、本会議で出た意見を踏まえて検討し、次回の会議にてお示しする。
- ・ 次回の会議の開催については、２月を予定し、後日日程調整を行う。

９ 閉 会

- ・ 西川課長からの挨拶

これからの公共施設マネジメントの意義と必要性をより深く学ぶため、行政出前講座の活用をお願いしたい。

以上